





野村選手が全レースを制し、ポイントリーダーに マスタークラスは今田選手が4連勝

B-Max Racing Team(チーム総代表・SFL チーム代表 組田龍司)は、8月29~31日、ス ポーツランド SUGO で行われた、全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第 10~12 戦 および第6戦(延期レース)に参戦し、野村勇斗選手が4戦すべてをポール・トゥ・ウィン で制する完勝で、タイトル争いでもトップに立ちました。

マスタークラスは、今田信宏選手が抜き出た速さを見せ、4連勝を飾りました。

■第 10、11 戦予選(8月29日(金)午後2時~2時30分)

猛暑の合間のやや過ごしやすい天候となった予選日。今大会は、延期レースも含めて 4 レ ース行われるため、金曜日午後に第10戦、第11戦の予選が行われました。

この予選で、他を圧倒する速さを見せたのは、練習走行から好調の野村選手。第10戦予 選では、1分12秒台を連発し、従来のコースレコードを破る1分12秒568をマーク。2位 となったデビッド選手を、SF ライツでは大差といえる 0.3 秒引き離して、ポールポジショ ン (PP) を獲得。第 11 戦予選ではさらにタイムを上げ、1 分 12 秒 554 を叩き出して、2 位 の佐野選手にやはり 0.3 秒差をつけて、連続 PP を決めました。 PP ポイントを得たことで、 野村選手はこの時点でポイントリーダーとなりました。

デビッド選手は大健闘の2位と3位、ケイレン・フレデリック選手は僅差の4、5位、ト 部選手はマシンバランスに苦しみ、8、9位でした。

































B-MOX Racing Team



Team Release

	ドライバー	Rd10 予選タイム(順位)	Rd11 予選タイム(順位)	Point (累計)
1 号車	卜部 和久	1分13秒195(8)	1分13秒372(9)	0 (3)
50 号車	野村 勇斗	1分12秒568(1)	1分12秒554(1)	1+1 (55)
51 号車	Z.デビッド	1分12秒869(2)	1分12秒856(3)	0 (17)
58 号車	K.フレデリック	1分12秒912(4)	1分12秒916(5)	0 (32)

天候:曇り、コース:ドライ、気温:33度、路面温度:42度

■第 10 戦決勝 (8 月 30 日 (土) 午前 10 時 35 分~26 周)

「これ以上ないほど決まった」という最高のスタートを決めた野村選手は、1周目からプ ッシュし、6周目に2秒、10周目には2.5秒と僅かずつ、2位佐野選手との差を開いていき ました。10周目以降は、ラップタイムをきっちり1分14秒5で揃えてペースをコントロー ル。後続を寄せつけない走りで、26周を走り切って、岡山大会から通算で4連勝となるチ ェッカーを受けました。

2番グリッドスタートのデビッド選手は、スタートで出遅れてしまい 4位、フレデリック 選手も序盤で遅れ6位。卜部選手は8位でフィニッシュしました。





	ドライバー	決勝順位	ベストタイム(順位)	Point (累計)
1 号車	卜部 和久	8位	1分14秒621(7/13)	0 (3)
50 号車	野村 勇斗	1位	1分14秒088 (1/13)	10 (65)
51 号車	Z.デビッド	4位	1分14秒399(3/13)	3 (20)
58 号車	K.フレデリック	6位	1分14秒637(8/13)	1 (33)

天候:曇り、コース:ドライ、気温:31度、路面温度:40度





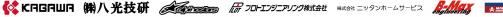




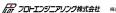




















B-MCJX Racing Team



Team Release

■第11 戦決勝 (8月30日(土)午後3時00分~19周)

野村選手は、スタート直後の1コーナーで佐野選手に迫られますが、そこを凌いてトップ を守ると、序盤で逃げの態勢を築こうとしました。しかし、後方で、デビッド選手とマッソ ン選手が接触。マッソン選手は4コーナーでストップし、デビッド選手はピットに戻ってリ タイアとなりました。このアクシデントで、1 周目からセーフティカー (SC) が導入されま した。

SC 明けの再スタートでもトップを守った野村選手は、佐野選手に1秒強のリードを保っ たまま周回を重ね、第10戦に続くポール・トゥ・ウィン。連勝記録を5に伸ばしました。 ト部選手は6位で貴重な1ポイントを上げ、ケイレン選手は序盤にポジションを落として7 位でした。





	ドライバー	決勝順位	ベストタイム(順位)	Point (累計)
1号車	卜部 和久	6 位	1分14秒841(7/13)	1 (4)
50 号車	野村 勇斗	1位	1分14秒025(2/13)	10 (75)
51 号車	Z.デビッド	DNF	- (-)	0 (20)
58 号車	K.フレデリック	7位	1分14秒697(6/13)	0 (33)

天候:晴れ、コース:ドライ、気温:35度、路面温度:46度

■第 12 戦決勝 (8 月 31 日 (日) 午前 11 時 20 分~19 周)

レース序盤は、好スタートを決めた野村選手が逃げ、8周目までに2.4秒のギャップを築 きました。しかし、9 周目以降は、2 位の佐野選手が野村選手との差を少しずつ詰めていき ました。その差は、12 周目に 1.3 秒、15 周目には 0.8 秒にまで縮まりますが、野村選手は





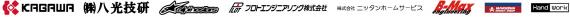




























冷静に佐野選手の動きを把握しながらレースを進め、佐野選手を従える形でチェッカーを受 けました。

デビッド選手は5位、フレデリック選手は6位でポイントを獲得。ト部選手はスタート後 の競り合いで接触し、ノーズ交換をしたため、13位でゴールしました。





	ドライバー	決勝順位	ベストタイム(順位)	Point (累計)
1 号車	卜部 和久	13 位	1分14秒303(7/13)	0 (4)
50 号車	野村 勇斗	1位	1分13秒789(1/13)	10 (85)
51 号車	Z.デビッド	5 位	1分14秒299(6/13)	2 (22)
58 号車	K.フレデリック	6位	1分14秒477(9/13)	1 (34)

天候:曇り、コース:ドライ、気温:26度、路面温度:32度

■第6戦決勝(8月31日(日)午後3時20分~19周)

この週末4度目のスタートでもトップを守った野村選手と、唯一野村選手を脅かす存在の 佐野選手は、このレースでも僅差の攻防を見せました。ここまでの3レースは、序盤に野村 選手がギャップを築く展開でしたが、今回は1秒と離れることなく進みました。

背後から迫られていた野村選手ですが、「向かい風の影響でスリップが効いていたので、 SP コーナーの立ち上がりは丁寧にいきました」と冷静に分析。途中、佐野選手にはフライ ングの裁定が出て、プラス5秒のペナルティが課されたこともあって、余裕を持った野村選 手が最後はやや差を広げて、今大会、無傷の4連勝となるチェッカーを受けました。

ト部選手はグリッドポジションを守って6位でポイント獲得。12番グリッドから追い上 げたデビッド選手は8位、1周目に遅れてしまったフレデリック選手は10位でした。









































	ドライバー	決勝順位	ベストタイム(順位)	Point(累計)	Rank
1 号車	卜部 和久	6 位	1分14秒654(8/13)	1 (5)	9
50 号車	野村 勇斗	1位	1分13秒924(2/13)	10 (95)	1
51 号車	Z.デビッド	8位	1分14秒188(3/13)	0 (22)	5
58 号車	K.フレデリック	10 位	1分14秒694(9/13)	0 (34)	4

天候:曇り、コース:ドライ、気温:25度、路面温度:30度

今大会を4連勝、前大会から通算して7連勝となるレースを、すべてポール・トゥ・ウィ ンで終えた野村選手は、ポイントを95まで伸ばし、シリーズ首位に立ちました。チームポ イントでもトップに立ちましたので、昨シーズン果たせなかった両タイトルの獲得に向け、 残る2大会6レースも全力で臨みます。

■1 号車ドライバー ト部和久選手コメント

「今週末は、毎レース、ポイント圏内で走れるレースになると感じていたのですが、ちょ っと欲をかいてセット変更したことで、バランスが崩れてしまいました。でも、いろいろ悩 んだことでセットアップの方向性もかなり見えてきましたし、次に向けて手応えを掴むこと ができた大会でした。富士大会では、まずは予選のポジションを上げるよう頑張ります |

■50 号車ドライバー 野村勇斗選手コメント

「今週末は、走り出しから調子が良く、逆にそれがいつもと違うので、このままマージン を維持できるのかちょっと不安になりました。でも、練習走行でチームと良いマシンを造る ことができ、結果的に予選、決勝とすべてトップで終えることができ、不安は杞憂に終わっ





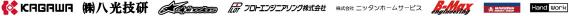




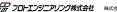
























て良かったです。来週末もレースが続きますので、ひとまず喜びに浸って、富士大会に臨み たいと思いますし

■50 号車監督 武藤英紀コメント

「すべてポール・トゥ・ウィンを決めることができましたし、週末を通してトップを一 度も譲らなかったので、本当に強くなったと感じています。野村選手は、F4 以外で菅生 を走ったことがなかったので、練習走行では徐々にペースを上げていこうと思っていまし たが、いきなり速かったですし、クルマも走り出しからほぼ完璧で、順調すぎるくらい順 調でした。

野村選手は、岡山大会での初優勝から、走るたびにアップデートしている感じですね。 元々ポテンシャルは高かったので、スタートを含め走り全体を微修正することで、着実に 強さを増しています。次の富士も楽しみです |

■51 号車ドライバー ザック・デビッド選手コメント

「今週末は、ペースもあり、予選では、両レースともトップ3でしたが、レースでは、そ れを結果に結びつけられませんでした。少しトラブルもありましたので、次戦の富士に向け て、しっかりと課題を洗い出し、改善に取り組みたいと思います。

富士スピードウェイは、まだ行ったことがありませんが、新たな挑戦にワクワクしていま す。次こそは、もう少し運が味方してくれることを願っています」

■58 号車ドライバー ケイレン・フレデリック選手コメント

「非常に悔しい週末となりました。練習走行では良いペースがあり、ポールポジションを 狙えるだけのポテンシャルも感じていました。しかし予選では、その速さを発揮することが できませんでした。さらに決勝レースでは、いくつかの小さなミスが重なり、状況をさらに 悪化させてしまいました。来週の富士では、しっかりと修正し、良い結果を出せるよう頑張 りますし





























マスタークラス

■第 10、11 戦予選

第10戦は、練習走行から好調の今田選手が、十分なウォームアップをした後のアタック で 1 分 14 秒 936 をマーク。清水選手、DRAGON 選手を突き放して、クラスポールを獲得 しました。2位には、トラブルで午前中の練習走行を走れなかった、清水選手が入りました。

第11戦は、好調の今田選手に思わぬ落とし穴が。コースインに少し手間取り焦りが出た のか、ピットロード1コーナーアウト側のガードレールに、フロントウィングをヒットする ミスを犯してしまいました。ウィングがぐらつき、バランスを失ったマシンではタイムは出 せず、清水選手にクラスポールを譲ることになりました。





	ドライバー	Rd10 予選タイム(順位)	Rd11 予選タイム(順位)	Point (累計)
4 号車	今田信宏	1分14秒936 (M1)	1分16秒121 (M3)	1 (18)
8号車	清水康弘	1分15秒556 (M2)	1分15秒457 (M1)	1 (70)
30 号車	DRAGON	1分15秒640 (M3)	1分15秒835 (M2)	0 (50)

■第 10 戦決勝 (26 周)

「クルマが決まっていた」という今田選手が、スタートから DRAGON 選手を引き離しに かかりました。その差は10周目に5秒、20周目には10秒にまで開き、独走状態に持ち込 んだ今田選手が、今季2勝目を飾りました。

今田選手から大きく遅れて 2 位を走行していた DRAGON 選手は、終盤の 23 周目に「集 中力を欠いた」と4コーナーで痛恨のスピン。変更したギアが合わずに苦戦していた清水選 手が2位に入りました。









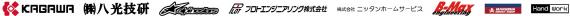




























	ドライバー	決勝順位	ベストタイム(順位)	Point (累計)
4 号車	今田信宏	M1 位(総合 11 位)	1分16秒394 (M1)	10 (28)
8号車	清水康弘	M2 位(総合 12 位)	1分17秒011 (M3)	7 (77)
30 号車	DRAGON	M3 位(総合 13 位)	1分16秒584 (M2)	5 (55)

■第 11 戦決勝 (19 周)

ロケットスタートを決めたかに見えた清水選手ですが、レース中にフライングの裁定が くだり、レース結果にプラス 10 秒のペナルティが課されました。それでもトップを走って いた清水選手ですが、ハイペースで追い上げてきた今田選手が「清水選手のペナルティは 分かっていましたが、トップでチェッカーを受けようと思いました | と 16 周目の 1 コーナ ーで逆転。そのまま連勝のチェッカーを受けました。2位は DRAGON 選手、スタートの ミスが悔やまれる清水選手が3位でした。















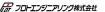
























	ドライバー	決勝順位	ベストタイム(順位)	Point (累計)
4 号車	今田信宏	M1位 (総合 9位)	1分16秒320 (M1)	10 (38)
8号車	清水康弘	M3 位(総合 11 位)	1分17秒246 (M2)	5 (82)
30 号車	DRAGON	M2 位(総合 10 位)	1分17秒322 (M3)	7 (62)

■第 12 戦決勝 (19 周)

スタートを決めた今田選手が、清水選手との差を着実に開いていき、レース折り返しを 過ぎた 10 周目には 6 秒もの差を築きました。3 位 DRAGON 選手も清水選手に引き離さ れ、縦に長い展開となりました。

トップ今田選手は、終盤になって1分16秒台前半のタイムを立て続けに叩き出し、18 周目にベストラップをマークするという快走を見せて独走優勝。大きく水を開けられた清 水選手、さらに遅れて DRAGON 選手の順でフィニッシュしました。





	ドライバー	決勝順位	ベストタイム(順位)	Point (累計)
4 号車	今田信宏	M1 位(総合 10 位)	1分16秒162 (M1)	10 (48)
8号車	清水康弘	M2 位(総合 11 位)	1分17秒033 (M3)	7 (89)
30 号車	DRAGON	M3 位(総合 12 位)	1分16秒863 (M2)	5 (67)

■第6戦決勝(19周)

今田選手がトップを守り、清水選手、DRAGON選手の順で連なり、レース前半は僅差の 攻防を見せました。しかし、8周目からは徐々に今田選手が抜け出し、差を開いてフィニッ









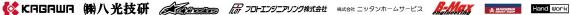




















B-MOX Racing Team



Team Release

シュ。清水選手と DRAGON 選手は、最後まで競り合いましたが、順位変動はなく、その ままゴールとなりました。

今田選手は、この勝利で今大会負けなしの4連勝。今シーズンは、他のレースとのバッテ ィングで12戦中6戦しか参戦していない今田選手ですが、その勝率は脅威の8割3分(6 戦5勝)を誇っています。





	ドライバー	決勝順位	ベストタイム(順位)	Point (累計)
4 号車	今田信宏	M1 位(総合 11 位)	1分16秒445 (M1)	10 (58)
8号車	清水康弘	M2 位(総合 12 位)	1分16秒787 (M2)	7 (96)
30 号車	DRAGON	M3 位(総合 13 位)	1分16秒803 (M3)	5 (72)

■4 号車ドライバー 今田信宏選手コメント

「今大会は、セッティングもばっちり決まり、チームのおかげで4連勝することができま した。4レース目は、無線でムチを入れられたものの、最後の2周で体力と気力が切れてし まい、基礎体力のなさを痛感しました。もっとトレーニングしないとだめですね。

今シーズン前半は、股関節の手術の影響もあって、特にブレーキングの感覚にズレが生じ ていましたが、それもほぼ以前の状態に戻っています。ライツに乗るのは厳しいかもしれな いと思ったこともありましたが、まだいけそうです。富士もこの調子で頑張ります |









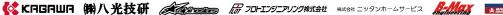
























■8 号車ドライバー 清水康弘選手コメント

「真夏の菅生での4連戦、身体的にも精神的にもハードな週末でした。金曜日の公式練習 が車両トラブルにより全く走行出来なかったこともあり、セットアップを合わせ込めず苦し い展開となりました。決勝でもフライングや接触等もありましたが、なにより今大会は今田 選手が本当に速くて完敗でした。来週末には富士大会の開催となりますが、各セッションを 有効に使って高い次元のマシンに仕上がるように、集中して全力で臨みます」

■30 号車ドライバー DRAGON 選手コメント

「稀に見るダメなレースウィークでした。速さ以前に、現場での車両に関するトラブル対 応や解析ができていませんでした。これは大きな反省材料です。3レース目まではセッティ ングが進まず迷走してしまい、最後のレースになって、ようやくペースを取り戻すことがで きました。そんな状況でしたが、今週末の今田選手の仕上がりは本当に素晴らしかったので、 自分が上手くやっても勝てなかったと思います |





























B-MOX Racing Team



Team Release







































